広報 あつぎ
2025
5.1
No.1446

index

❷ アプリで視覚障がい者を支援
❸ 厚木北公民館が完成
❹–❺ 特集 こどもまんなか社会を目指して
一人一人が未来の種
❻–❽ 街の話題/コラム/お知らせ

デジタル広報配信 アプリは「マチイロ」「カタログポケット」ネットは「マイ広報紙」

元気に伸び伸びと

あつぎ子ども月間

「滑り台で遊ぼう」「もう一回やろうよ」「こっちも面白いから来て」。3月に遊具をリニューアルした荻野運動公園には、楽し気な声が響き渡ります。ぴかぴかの滑り台で遊んだり、全身を使って壁をよじ登ったりと、子どもたちが元気に園内を駆け回っています。

遊びや体験は、子どもたちの健やかな成長に欠かせない時間です。子育て環境が変化する中で、子どもたちがより伸び伸びと過ごせる環境をつくるには、家族はもちろん、職場や地域、社会全体の支え合いが必要です。

5月は「あつぎ子ども月間」です。未来を担う子どもたちが幸せに暮らせるよう、一人一人ができることを考えてみませんか。

《4・5面に関連記事》

問こども育成課☎225-2262

荻野運動公園の遊具をリニューアル

子どもたちが安全で楽しく利用できるよう、老朽化した園内の遊具を更新しました。

《遊具の選定》

遊具メーカー2社の提案を基に、来園者にアンケート調査を実施して選定しました。詳細は市HPに掲載。

市HPはこちら

問公園緑地課☎225-2411

編集・発行／厚木市広報シティプロモーション課 〒243-8511 神奈川県厚木市中町3-17-17 TEL.046-223-1511(代) FAX.046-223-9951

Zoom Up

外出時の不安をなくすために
アプリで視覚障がい者を支援

スマートフォンのアプリで専門のオペレーターと通話ができ、目が不自由な方の外出や日常生活を支援するサービスを5月から提供します。カメラの映像を共有し、目的地への案内や看板の読み上げなど、周りの状況を伝えながら生活をサポートします。

視覚に障がいがある方の外出支援ではこれまで、専門のガイドが付き添う同行援護支援が一般的でした。新しいサービスでは専用のアプリを起動すると、画面を一回押すだけでオペレーターとの通話ができます。スマートフォンから共有されたカメラ映像を基に音声で周辺の状況を伝え、外出や日常生活をサポートします。

安心して外出できる

オペレーターに共有されるのは、カメラの映像と衛星利用測位システム（GPS）の位置情報です。利用者が映した映像から、目的地への道案内や障害物の有無などの情報を音声で提供。交通量の多い道路や点字ブロックが設置されていない歩道、初めて訪れる場所でも安心して移動できるよう支援します。

サービスは利用対象者の意見を踏まえ県内で初めて導入しました。これまでの同行援護支援は数週間前からの予約が必要など手軽に利用できないという課題がありましたが、サービスの導入で解消が期待されます。

アプリを利用した平尾須美子さん（54・山際）は「家族は働いているので一人で過ごすことが多い。一人で外出する時は不安を感じるので、案内役の人にすぐにつながるのはありがたい。困ったときに助けてくれる人が一人でも多いのは心強い」と話します。

より過ごしやすい環境を

市では障がいがある方の外出を後押しするため、タクシー代やガソリン代を助成する福祉タクシー利用券、自動車ガソリン購入券を交付しています。他にも聴覚に障がいがある方のために手話通訳者や要約筆記者の派遣サービスを取り入れるなど、誰もが過ごしやすい環境の整備を進めています。

問障がい福祉課☎225-2221

数秒の通話から利用できる

視覚障がい者遠隔サポートシステムの概要

《利用イメージ》

①アプリで電話をかける

②オペレーターに映像や位置情報が共有される

③必要な情報を提供

《対象》市内在住で身体障害者手帳を持つ18歳以上の視覚障がい者

《費用》無料

《利用時間》月２時間

申障がい福祉課や市HPにある申請書を直接または郵送、ファクス、Eメールで5月1日から〒243-8511障がい福祉課FAX224-0229・✉2100@city.atsugi.kanagawa.jpへ（利用に条件あり）。

身近な生き物をみんなで調査

スマホで簡単生き物探し

生き物や植物の写真を撮って名前を調べて投稿できるスマートフォンアプリ「Biome（バイオーム）」を使い、市民参加型の生き物調査を開催します。

問環境政策課☎225-2749

名　　称　あつぎいきもの調査隊2025
開催期間　5～7月
費　　用　無料

詳細はこちら

あゆコロちゃんバースデーイベントなどを運営

参加者募集

あつぎにぎわいアドベンチャー隊

厚木を盛り上げる活動を企画・運営する大学生を募集します。学生の目線でまちの魅力を発信してみませんか。

対　　象　市内５大学（神奈川工科・松蔭・湘北短期・東京工芸・東京農業）の学生または市内在住の大学生
活動期間　6月～2026年3月31日

申電話またはＥメールに氏名、学校名、学年を書き、商業観光課☎225-2840・✉3800@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

詳細はこちら

3つの助成で人材確保

看護・介護職に助成

看護・介護職を目指す方や復職する方に助成金を交付しています。

◆転入奨励助成金

市内への転入費用を助成します。

《対象》市内在住で①市内医療機関や介護・障がい福祉サービス事業所に就職または勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②市外から市内に転入―の全てを満たす方

《助成》最大20万円

◆復職等奨励助成金

市内の病院などに復職する方に奨励金を交付します。

《対象》市内在住で、市内医療機関や介護・障がい福祉サービス事業所に復職する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など

《助成》最大20万円

◆奨学金返済助成金【医療機関勤務者のみ】

奨学金の返済金額を助成します。

《対象》市内在住で①採用後3年未満の市内医療機関に勤務する看護師・歯科衛生士・介護福祉士・社会福祉士など②奨学金を利用して資格を取得し返済中―の全てを満たす方

《助成》年上限20万円（最長3年間）

いずれも詳細は市HPに掲載。

【医療機関】問健康医療課☎225-2174
【介護・障がい福祉サービス事業所】問介護福祉課☎225-2240
問障がい福祉課☎225-2225

Zoom Up

4月から供用開始

厚木北公民館が完成

老朽化などにより建て替えを進めていた厚木北公民館の新築工事が完了し、4月に開館を迎えました。体育室やエントランスホールに冷暖房設備を設置するなど、快適な利用環境を提供していきます。

新しい厚木北公民館

大集会室は最大81人を収容

新たに体育室を設置

和室に茶道用の水屋を設置

冷暖房完備のエントランス

その他の部屋…保育室、調理室、集会室、図書室、会議室

愛TV 5/1～

快適で使いやすく

1975年に開館した旧厚木北公民館は、老朽化などによる建て替えのため2021年に閉館し、同年から解体・新築工事を進めてきました。3月に新たな施設が完成し、4月7日から供用を開始しました。

新しい公民館は鉄筋コンクリート造り・3階建て。敷地面積は以前から約1・3倍の2千平方㍍で、延べ床面積は2倍以上になりました。これまでなかった体育室も整備し、冷暖房設備を設置。冷暖房はエントランスホールを含めた全ての部屋にも備え、夏場の施設利用や、証明書の発行などが快適にできます。さらに、市内公民館で初めて保育室にキッズトイレを設置した他、エレベーターは車いすの方も利用しやすいよう、15人乗りの大きさにしました。

公民館は、災害時の指定緊急避難場所にも指定されています。相模川が近く水害が想定される地域のため、電気室を2階に設置。災害に強い施設を目指します。

サークルや地域の活動の場に

市内には15の公民館と一つの分館があります。皆さんの地域活動や生涯学習の場として活用でき、公共施設予約システムを使って部屋を借りられます。(左欄参照)。

今後も市民の皆さんが活発に活動や交流ができるよう、安全で快適な公民館を目指していきます。

問厚木北公民館☎223-3147

公民館・地区市民センターでできること

・部屋を借りる

サークル活動や地域活動のために部屋を貸し出しています

・各種証明書などの発行

住民票の写しや戸籍謄本などの証明書を発行できます

・本を借りる（一部の公民館を除く）

公民館図書室で本を借りられます。一部の公民館では、中央図書館の本も借りることができます

公民館の部屋を借りるには

①団体登録をする

《対象》①生涯学習活動を目的②代表者が16歳以上③市内在住在勤在学の方が過半数を占める―の全てを満たす5人以上の団体

申直接、最寄りの公民館へ。

②公共施設予約システムで抽選に申し込む

使いたい月の3カ月前の1日から末日までに申し込み。2カ月前の1日に抽選後、本予約が可能。抽選後も空いている部屋は、先着順で予約できます。

詳しくは市HPに掲載

子育て世帯にお得なサービスや割引 愛TV 5/1～

子育てパスポート AYUCO

登録して画面やカードを見せると、市内約360店舗で割引やお得なサービスが受けられます。 問商業観光課☎225-2840

《対象》18歳以下の子どもと同居する保護者
※18歳になって初めて迎える4月1日まで登録・利用可

《費用》無料

申AYUCOのHPから登録。カードを希望する方は直接、商業観光課へ。

詳細はこちら

AYUCOが使えるサポーター店舗募集

サポーター店舗に登録し、子育て世帯を応援しませんか。

・登録無料、専用端末などの導入も不要です
・AYUCOのHPに店舗のページを作り、お知らせなどを発信できます

《対象》事業に賛同し割引や特典などのサービスを提供できる店舗

申AYUCOのHPから申し込み。

夏休み期間中の居場所に

小学生預かりサービス

夏休み期間中、働く保護者に代わって小学生を預かり、日中の生活や遊びの場を提供します。

問こども育成課☎225-2582

《日時》7月22日～8月25日
(土・日曜、祝日、8月11～15日を除く)
7時30分～18時

《場所》ぼうさいの丘公園

《対象》①保護者が就労中で昼間は家庭にいない②保護者が実施場所に送迎できる③市立放課後児童クラブを利用していない―の全てを満たす市内在住の小学生40人

《費用》1万1000円(昼食、飲み物は各自で用意)

申こども育成課や市HPにある申請書と必要書類を、直接または郵送で5月26日～6月6日(必着)に〒243-8511こども育成課へ。審査あり。

楽しく交通安全を学ぶ

交通安全フェスタ

交通ルールやマナーを楽しみながら学べます。

日時　5月17日　13～16時　※雨天中止
場所　厚木中央公園
内容　❶交通安全クイズ(小学校低学年以下向け)
❷はたらくくるま大集合(白バイ、パトカー、はしご車の乗車体験)
❸ミニ縁日(射的、スーパーボールすくいなど)
❹吹奏楽やダンスパフォーマンス
費用　❶❷❹無料❸1回100円(❶の参加者に1回無料券をプレゼント)
申不要。
問くらし交通安全課☎225-2760

特集　こどもまんなか社会を目指して

一人一人が未来の種

子どもはこれからの未来を担っていく大切な存在です。一人一人が健やかに幸せに暮らしていけるよう、市では「こども・若者みらい計画」を策定しました。特集では、計画に位置付ける「インクルーシブ」と「居場所づくり」といった課題に挑んでいる方々の活動に迫りました。

インクルーシブ保育
子どもの気持ちを一番に

水をかぶってはしゃぐ子、お絵描きに夢中な子、追い駆けっこをする子―。上依知にあるカミヤト凸凹保育園には、自由な時間が流れています。園のモットーは、「一人一人のやってみたいという気持ちを大切に」。子どもたちは障がいや国籍などに関わらず、全員が一緒に過ごしています。

「分けない」場所をつくる

「6歳までに考え方や個性など『自分らしさ』ができるので、勉強よりもまずは自分を愛せるようになってほしい」。そう話すのは理事長の馬場拓也さん（49）です。幼児教育では、0～6歳は人格形成期とされ、その大切な時期にこそ、多様な子どもたちが共に過ごす環境が必要だと考えました。2016年、津久井やまゆり園で起きた事件をきっかけに、「障がいのある人もない人も幼い頃から一緒に過ごすことが当たり前だったら、悲劇は起きたのだろうか」と考えるように。どんな子も分け隔てなく育つ場をつくろうと、19年4月に保育園と障がい児支援が一体となった施設を開設しました。誰もが持つ凸（長所）に注目し、誰もが持つ凹（短所）をみんなで埋め合うという意味が込められた園では、さまざまな個性を持った子どもたちがクラスを分けずに生活しています。卒園後もつながりに切れ目をつくらないため、18歳まで通える放課後等デイサービスも併設。幅広い年代が共に過ごせる場を提供しています。

水遊びで子どもたちは大喜び

園児と笑顔を見せる馬場さん

回廊型の園舎を走り回る

やりたいことを全力で

園では、保育士が一方的に教えるのではなく、子どもたちがやりたいことを自由に楽しめる保育に力を入れています。雨上がりの水たまりに寝転んでもいいし、木登りをしてもいい。やりたいことができるように時間割を決めず、伸び伸びと園舎を駆け回る子どもたちを見守ります。園長の瀬山さと子さん（62）は、「保育士は一歩引きながらも注意深く様子を見ている。けんかをしてもすぐに大人が止めたりしない。子ども同士で納得できるよう、自分たちで解決策を考えることが大切」と話します。

年代に関係なくみんなが一緒に過ごす

びしょ濡れの泥遊びもOK

「その子らしさを大切にしたい」と話す瀬山さん

みんな凸と凹がある

自由な保育や子ども同士が長所と短所を補い合う園の考え方に共感し、障がいのある双子を入園させた老川麻衣さん（40・上依知）は、卒園後も放課後等デイサービスを利用しています。「子どもたちは慣れた場所に来ることでリラックスできている。息子たちはたくさんの凹があるけれど、みんなで一緒に過ごすから、子ども同士で自然と理解し合ってくれた」と話す老川さん。進学した小学校では、先生が特別に説明しなくても、同じ園で過ごし息子たちの特徴を分かってくれる仲間がいることに、心強さを感じています。

馬場さんは開園前から、園の方針に迷う日々を送りました。しかし今は、育ち合う子どもたちの姿や保護者の温かい言葉に背中を押され、「間違いなかった」と確信しています。「色んな園がある中で、一つはこんな場所があってもいい」と話す馬場さんの表情は、どこか晴れやかでした。

こども・若者みらい計画を策定

「こどもまんなか社会の実現」を基本理念に全ての子ども・若者が幸せに暮らせる社会を目指し、新たな計画を策定しました。計画では、子どもたちの声を始め幅広い方々の意見を参考にしています。

問こども育成課☎225-2262

詳細はこちら

つながりができるまちに

南毛利中学校3年
岡藤 千紘さん

計画策定に向けたパブリックコメントに応募しました。計画に大人だけでなく、子どもの意見が反映されるのは大切なことだと思います。

現在、ジュニアリーダーの活動に参加しています。学校や年齢が違う人たちと関わる機会が続いていけばいいなと思い意見を出しました。子ども同士の関わり合いが増えるまちであってほしいです。

子育て世帯に聞きました！「してもらってうれしかったこと」

子育て中、周りからしてもらってうれしかったことや印象に残っている出来事を聞きました。

- 子どもがお店で走り回ってた時に、周りの人が引き留めてくれた。一緒に見守ってくれてありがたかった。（30代女性）
- 電車で子どもが泣いてしまった時に、隣の席の人が「大丈夫だよ」と一緒にあやしてくれて緊張がほぐれた。（20代男性）
- 急用で出かける用があった時、近所の知り合いが子どもを預かってくれて本当に助かった。（40代女性）
- 友達がランチに誘ってくれた。子育て中、ストレスがたまることもあるので良いリフレッシュになった。（20代女性）
- 重い荷物を持ちベビーカーを押していた時、エレベーターの扉を開けて待ってくれてうれしかった。（30代女性）
- 学生の団体にバスで席を譲ってもらえた。気さくに話しかけてくれて子どもが喜んでいた。（20代女性）

地域の居場所づくり
子どもを中心にみんなが集まる食堂

子どもたちとの会話を楽しむ

「おかわり！」「よくかんで食べてね」。長谷第二自治会館の一室に、カレーの香ばしい匂いが広がります。「下長谷こども食堂」では月に一度、手作りカレーなどを振る舞い、子どもや若者、年配の方を楽しませています。

みんなの居場所づくり

「いつも来てくれてありがとう」。優しく子どもたちに話すのは代表の小金義春さん（78・長谷）です。防犯パトロールや自治会活動、保護司など、長年にわたり地域の子どもたちを見守ってきました。貧困やひとり親世帯の問題を目の当たりにし、何かできることはないかと考えていた時、妻の千恵子さん（75）が子ども食堂で喜ぶ人の姿をテレビで見ました。誰にとっても欠かせない食を安全に提供する食堂が、子どもたちが集まる場所として理想的と考え、夫婦で動き出しました。

2017年4月、民生委員やパトロール隊時代の仲間に声を掛け、下長谷こども食堂がスタートしました。「子どものためならと、すぐにみんな協力してくれた」と笑顔を見せる義春さん。現在、大学生や駐在所の警察官などを含めた15人で活動しています。

食卓を囲み笑顔が増える

地域の子どもや保護者など30人ほどが集まる自治会館の食卓では、カレーや副菜と一緒にたくさんの笑顔が並びます。家族で訪れた石井悌子さん（長谷）は「子どもは食堂に来るのを毎回楽しみにしている。通っていると地域の方に顔を覚えてもらえるのがうれしく、安心にもつながる」と話します。

子どもから大人まで気軽に立ち寄り、ご飯を食べながら輪を広げているこども食堂。数年前からは、中学校にうまくなじめず不登校だった生徒がボランティアをしています。始めは表情も暗く、義春さんとしか話せませんでしたが、畑での野菜づくりから食堂当日の準備まで、小金夫妻と多くの時間を重ねるうちに打ち解け、今では他のスタッフや子どもたちとも明るく関わっています。この春に大学を卒業し、社会人になる報告を受けた義春さん。「自分のことのようにうれしいね」と目を細めます。

下長谷こども食堂では、食事の提供だけでなく、小学校の先生による学習指導や季節ごとのイベントなども開催しています。義春さんは活動を続ける中、地域全体で子どもを見守る意識が広がっていると感じています。「これからも絆をつなぐ場所として、気軽に寄れる食堂で在り続けたい」。そう話す義春さんの目は、真っすぐに前を見つめていました。

交流しながら一緒に食事をする

食堂の準備を進める義春さん（中央）

こどもまんなか社会とは？

全ての子ども・若者が身体・精神・社会的に幸福な生活を送ることができる社会のこと。子どもが自分の能力を生かし、希望を叶えられるよう、社会全体で後押ししていきます。

夏の水難事故に備えて

相模川で救命ボート取り扱い訓練を実施

消防本部は4月、相模川で水難事故を想定した救命ボート取り扱い訓練を実施し、隊員50人が資器材の確認やボートを使った訓練に当たりました。

訓練は、川での事故が増える夏に備えて毎年実施しています。隊員たちは、救命ボートの操縦や要救助者にロープ・浮き輪を渡す救命索発射銃の使い方を確認。昨年7月に導入した水中ドローンの操作訓練にも取り組みました。参加した隊員の瀧島漱太さん(26)は「実際の出動を想定した。川は危険な所が多いので、遊ぶ時には幼い子どもから目を離さないように注意してほしい」と呼び掛けました。

市内では昨年、6件の水難事故が発生。河原での水遊びやバーベキューの際は十分にお気を付けください。

ボート操縦訓練に取り組む隊員たち

厚木の春の風物詩

「あつぎ飯山桜まつり」を開催

春の訪れを告げる「あつぎ飯山桜まつり」を、飯山白山森林公園で開催しました。61回目を迎えた祭りは「かながわの花の名所100選」にも選ばれている飯山白山森林公園の桜の広場で毎年開催しています。開花が始まったサクラの下で、飯山地区に伝わる伝統芸能「飯山白龍太鼓・白龍の舞」や女性で担ぐ「さくら輿」、飯山花音頭のパレードなどが繰り広げられ、来場者を楽しませました。

市外から家族で訪れた本﨑慎也さん（39）は「桜まつりに来たのは初めて。サクラが思った以上に咲いていたのがうれしかった。白龍の舞やおみこしなどは迫力満点で子どもも喜んでくれたので、来て良かった」と笑顔を見せました。

迫力ある「白龍の舞」

街のNEWS あつトピ!

地場産の食材を買い求めて

「夕焼け市」オープニングフェアを開催

市内で生産された野菜や食料加工品などを販売する「夕焼け市」が、荻野運動公園で始まりました。初日は約800人が訪れ、生産者と会話をしながら買い物を楽しみました。

夕焼け市は、1999年にスタートし、今年で27回目。旬の地場農産物や豆腐・パンなどの食料加工品が生産者から直接買える場として親しまれています。夏野菜収穫フェア(8月)など、季節に合わせたイベントも開催予定です。

夕焼け市出店者組合の大貫浩一組合長は「今年も開催できてうれしい。立派な野菜などが並ぶので買い物を楽しんでほしい」とあいさつ。親子で来た石田仁美さん（43・みはる野）は、「毎年楽しみにしている。にぎやかで温かい雰囲気が好き」と話しました。

10月まで、毎週水曜日の17時から開催

歯と口の健康づくりに向けて

3者で連携協定を締結

市民の健康への意識向上と健康寿命を伸ばすため、市歯科医師会、ロッテと3者で連携協定を結びました。3者は「噛むこと」の大切さや知識の普及啓発をはじめ、市が実施する事業や災害時の物資提供を含めた被災者支援などで協力。ロッテからは健診で活用できるそしゃく力を判定するガムが無償で提供されました。

締結に当たり山口貴裕市長は「市民の皆さんの歯と口の健康を守るための3者協定が締結でき心強い。それぞれの専門的な知識や助言などを頂きながら、健康づくりに取り組んでいきたい」と力を込めました。

今後、ガムを使った口腔機能の低下の早期発見や治療につなげるオーラルフレイル健診などに取り組んでいきます。

締結式の様子

県央やまなみ探訪

厚木・秦野・伊勢原市、愛川町、清川村の5市町村が観光振興で連携している「県央やまなみ地域」の魅力を、毎月順番に紹介します。紙面では伝えきれない5市町村の観光にまつわるコラムを、ニュースサイトでも紹介します。

最終回　丹沢の清らかなお湯

丹沢の“水がめ”、宮ケ瀬湖の南側に、森に囲まれた小さな公営の日帰り入浴施設があります。清川村が運営する「ふれあいセンター　別所の湯」。丹沢の源流から取った清らかなお湯が人気です。気軽なリラクセーションの場として、宮ケ瀬の観光客にもファンが広がり、2024年12月に延べ来場者数が200万人に達しました。

「別所の湯」の「森のテーマ浴場」

ニュースサイトで詳しく紹介しています▶

問商業観光課☎225-2820

厚木愛通信

厚木市長 山口貴裕

サクラや菜の花、ネモフィラの花が開き、春色に染まる荻野運動公園が多くの家族連れでにぎわっています。中でもひときわ大きな注目を集めているのが、3月下旬にリニューアルした大型遊具です。

既設の遊具で人気が高かったゴンドラを一新し、高さの異なるデッキやさまざまな種類の滑り台などを配置したこの遊具。私の幼少時にはこれほどの遊具はなかったので、少しうらやましい気持ちです。うれしそうに駆け回る子どもたちを見て、私もスーツを着たまま滑り台に上りたい衝動に駆られました。子どもたちからは遊具の魅力を伝えられた半面、子どもならではの意見も伺いました。今後の整備に、生かしたいと思います。

子どもの成長過程で、体を目いっぱいに動かすのは大切なことです。そんな思いから今年度、アミューあつぎ・子育て支援センターのリニューアルを計画しています。相談体制の充実はもちろん、子どもたちが冒険・経験・体験できる魅力ある施設を目指します。

市では産前産後の支援、学校給食の無償化、高校年代までの医療費無償化など、切れ目のない支援を進めています。「子育てするならあつぎ」。皆さんに、そう誇ってもらえるまちをつくってまいります。

私を誘ってくる(？)子どもたち

タウンガイド

5月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

申＝申し込み　問＝問い合わせ　☎＝電話番号
FAX＝ファクス番号　✉＝Eメール　HP＝ホームページ
＝講座予約システム　70th＝市制70周年記念事業
愛TV 5/1～＝市広報番組あつぎ愛テレビ
市役所への郵便物は「〒243-8511○○課」で届きます。

あつぎのしゃしん。

「空を泳ぐ」
#4月9日撮影
#恩曽川
#鯉のぼり
#niceatsugi
市公式インスタグラムで公開中

スポーツなじみDAY

6月1日、10～15時。荻野運動公園。セストシューターやモルック、ボッチャなど年齢や体力に関わらず楽しめるニュースポーツを体験。モルックジャパンオープンも同日開催。無料。申不要。室内履きをお持ちください。問スポーツ魅力創造課☎225-2531。

あつぎ消防フェア

5月18日、10～15時。ぼうさいの丘公園。はしご車、消防車、救急車の乗車体験やスタンプラリーなど。無料。申不要。問消防総務課☎223-9366。

市民ふれあいマーケット

5月25日、9時30分～14時（雨天中止）。厚木中央公園。日用雑貨や衣料品などの不用品を100店舗が販売。問環境事業課☎225-2793。

ハーモニカのまち厚木SUMMER FESTIVAL(市民協働提案事業)

8月9日、13時30分～15時30分。文化会館。プロの奏者や小学生の発表、音曲漫才師とハーモニカのコラボ演奏。1400人。2000円（高校～大学生1000円、中学生以下無料）。申6月1日から電話で厚木ハーモニカ委員会☎090-2228-6427へ。先着順。問文化魅力創造課☎225-2508。

救急救命講習会

■応急手当普及員再講習会
5月21日。応急手当普及員の有効期限の更新や技能の維持・向上のための講習。有効期限(3年)以内で市内在住在勤在学の応急手当普及員30人。3960円(テキスト代)。

■応急手当普通救命講習会(小児・乳児対象)
6月7日。応急手当ての重要性、心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱いなど。市内在住在勤在学の中学生以上30人。無料。
いずれも9～12時。消防本部。申5月1～9日に救急救命課☎223-9365へ。抽選。

井上純×壁画プロジェクト フリーウォール

参加者募集

誰でも自由に絵を描ける壁を期間限定で設置します。思い切りアートを楽しみませんか。
問文化魅力創造課☎225-2508

《日時》5月19～25日　10～17時
《場所》図書館・市役所などを含む複合施設建設場所(中町2-2)の仮囲い
《費用》無料　　申不要。

井上純さんによる公開作品制作　愛TV 5/1～
期間中、市内出身のアーティスト・井上純さんの作品制作を見学できます。

詳細はこちら

市民協働提案事業

あつぎストリートフェス

路上ミュージシャンのストリートライブを楽しみませんか。
問文化魅力創造課☎225-2508

日時　5月17・24日　15時30分～19時30分
場所　中町花の公園
内容　各日20組程度のアーティストが演奏を披露
費用　無料
申不要。

詳細はこちら

日本赤十字社救急法基礎・救急員養成講習会

6月1・7・8日(全3回)、9時30分～17時30分。保健福祉センター。心肺蘇生法、自動体外式除細動器(AED)の取り扱い、急病やけが・骨折の手当て、搬送方法などを学ぶ。15歳以上30人。3600円（教材代・保険料）。合格者に認定証を交付。申往復ハガキ、Eメールに講習名、〒住所、氏名（ふりがな）、性別、年齢、電話番号を書き、5月14日（必着）までに〒243-8511地域包括ケア推進課☎225-2200・✉1910@city.atsugi.kanagawa.jpへ。抽選。

一日看護体験参加者募集

8月14日、8時45分～12時。市立病院。病棟での看護ケア体験。市内または近隣市町村在学の高校生20人程度。無料。申6月6日までに市立病院HPへ。抽選。問病院総務課☎221-1570。

新たな交流拠点検討委員会委員を募集

新庁舎移転後の本庁舎敷地跡地に整備する新たな交流拠点について、審議する委員を募集します。
《対象》①市内在住在勤在学で応募日現在18歳以上②平日昼間の会議（年5回程度）に出席できる③他の審議会などの委員でない④市の議員・職員でない―の全てを満たす方3人程度《任期》7月～（2年間）《報酬》日額7800円（交通費含む）。申行政経営課や市HPにある申込書を直接または郵送、Eメールで6月1日（消印有効）までに〒243-8511行政経営課☎225-2099・✉0600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。書類選考あり。

線引き見直しの都市計画案の縦覧と意見書の受け付け

県・市の都市計画の変更案を縦覧し、意見書を受け付けます。
《期間》5月13～27日《縦覧場所》都市計画課《意見書受付》市内在住または変更案と利害関係がある方が対象。申市または県HPにある意見書を直接または郵送、ファクス、Eメールで5月27日(必着)までに〒243-8511都市計画課☎225-2400・FAX222-8792・✉4600@city.atsugi.kanagawa.jpへ。

商店街プレミアム商品券の販売

厚木なかちょう大通り商店街や厚木一番街商店街の店舗で使える6000円分の商品券を5000円で販売します。
《日時》5月10日、10時～《場所》アミューあつぎ《価格》1セット5000円（6000円分。500円券×12枚）。《販売上限》1人6セット《販売数》4000セット《使用期限》6月30日まで。申不要。先着順。問商業観光課☎225-2840。詳細は市HPに掲載。

5月12日は民生・児童委員の日

民生・児童委員は地域の身近な相談役です。高齢者・障がい者・児童に関する相談など、福祉のことでお困りの方は気軽に相談してください。地域の担当委員の確認は、地域包括ケア推進課☎225-2200へ。

5月12日は看護の日

近年の少子高齢化社会に対応するため、一人一人が助け合いの心を持って過ごしましょう。問病院総務課☎221-1570。

ホット インターネットモニターからの意見を紹介

いいメール Hot E Mail
インターネットモニター募集中
厚木市 インターネットモニター　検索
問広報シティプロモーション課☎225-2043

4月1日号「広報あつぎ」を読んで

◆河津桜と雪をかぶった山がすてきだ。どこで撮影したのか気になった／50代女性 ◆「あつめき」という愛称は親しみやすく、呼びやすい／40代男性 ◆デジタル技術を活用し生活を便利にするのは良いと思う。相談窓口が数カ所あるとありがたい／70代以上男性 ◆他のまちに住む友人に厚木の良いところを話したい／40代女性 ◆新生活を始める人も多い月で、厚木を紹介できる内容だと感じた／30代女性

編集後記

取材中、たくさんの子どもたちと触れ合いました。撮影したのに掲載できなかった写真が多くあり、心苦しく思っています。子どもたちは何事にも興味津々。夢中になって遊び、ご飯をおいしそうに食べる姿に、私もあの頃の気持ちを思い出しました。子どもの生き生きとした表情をたくさん残したいと思い、カメラのレンズを向けました。元気いっぱいな姿が伝わればうれしいです／佐々木

70th　緑に触れ合う2日間

緑のまつり

日時　5月10・11日
10～16時
場所　厚木中央公園

サツキの花や円形の花壇などが会場を彩ります。花や緑にちなんだ催しやワークショップなどをお楽しみください。

問公園緑地課☎225-2412

イベント

■サツキ苗プレゼント
《時間》13時～（先着100人）

10日

■フラワーカーペット作成
来場者が花などを置き、市制70周年を記念した一つの大きな絵を作ります。
《時間》10時30分～

■神奈中バス展示会
バスと記念撮影、グッズ販売

11日

■出張ロマンスカーミュージアム
缶バッジ作り（1個300円）、物販

■絵本のよみきかせ会
《時間》10時30分～、14時～（各回20分）

いずれも申不要。

詳細はこちら

ワークショップ（両日）

■キノハナ
《時間》10時～、10時45分～、11時30分～、13時～、13時45分～、14時30分～、15時15分～（各回30分）
《内容》かんなくずなどを使った花づくり
《対象》各回12人（スターチスボックスは1日25人。先着順）
《費用》かんなくずカーネーション花束＝1000円、スターチスボックス＝500円

スターチスボックス

■バスボムづくり
《時間》10時～、11時～、13時30分～、14時30分～、15時30分～（各回30分）
《対象》各回10人
《費用》1個500円（1人2個まで）

バスボム

いずれも申5月1～9日に公園緑地課☎225-2412へ。先着順。詳細は市HPに掲載。

観覧者募集

NHKテレビ番組公開収録

豪華な出演者が素晴らしい名曲をたっぷりとお届けします。

日　時　6月26日　18時30分～
場　所　文化会館
定　員　1200人程度
費　用　無料
申5月1～27日　にNHKのHPから申し込み。抽選。詳細は市HPに掲載。

詳細はこちら

市制70周年記念事業
問企画政策課☎225-2450

プロスポーツ応援キャラバン第3弾

厚木はやぶさFCを応援しよう

市にゆかりのあるプロスポーツチームをみんなで応援して盛り上げましょう。

日　時　5月18日　12時～
場　所　荻野運動公園
対戦相手　東京国際大学FC
費　用　無料
申不要。

詳細はこちら

マスコットキャラクター

《来場特典》
中学生以下の先着200人にオリジナルシャツをプレゼント

自然歳時記

●ハルユキノシタ●
ユキノシタ科

山地の岩場に生える多年草。茎の高さ20㌢ほどの先端に白い花を咲かせる。花は、左右相称で上の３個の花弁に黄色の斑点がある（円内）。ユキノシタは斑点が赤い／不動尻への岩場で見つけた。　写真・文／吉田文雄

広沢寺温泉から不動尻へと向かう道は、変化に富み意外に歩きやすい。歩きながら見る道端に咲く小さなネコノメソウの仲間を見て、最終地点で見事なミツマタの大群生に出合えるからだ。

オオバヤシャブシやフサザクラも美しく、谷間から聞こえるミソサザイ、カワガラスの鳴き声や姿は日常の疲れを全て忘れさせてくれる妙薬で、足取りも軽くなる。

道の山側の石崖の隙間から生える白いハルユキノシタの花は清楚（せいそ）で美しく明日への希望が湧いてくる。青い空、透明な水、そして、すがすがしい空気は人生の宝である。

厚木市の人口（4月1日現在）
世帯数　10万6679世帯（前月比466世帯増）
人　口　22万3014人（前月比41人増）男11万4991人・女10万8023人

「広報あつぎ」では、自主財源確保のため広告掲載事業を実施しています。広告掲載の申し込みは㈱横浜メディアアド☎045-450-1808へ。